



南部町立南部中学校 学校だより R7 第11号

城山の風

令和7年9月8日(月)

校長 樋口 信也

避難訓練・南部エリア防災会

8月27日(水)に地震を想定した避難訓練と南部エリア防災会を実施しました。

今回の避難訓練は、生徒には知らせず、また、校庭に避難できないという設定で行いました。実際の災害発生時には何がどうなるかわかりません。できるだけ様々な想定で訓練を実施していきたいと思います。

エリア防災会は、東日本大震災の教訓をもとに指定避難所となっている小中学校ごと、学校と地域が連携して避難所運営や減災活動を行えるよう組織されたものです。そして、いざというときに避難所運営がスムーズにできるように、避難所運営マニュアルの確認、災害備品や備蓄品の確認・訓練などを行っています。

避難訓練の後、3年生が発電機・バルーン投光器・浄水装置の使い方の訓練とトリアージについての学習を行いました。避難所では、中学生も共助の一端を担うこととなります。そのためにできることを増やしておくことが必要です。

まず自分の命を守る、そして互いに助け合う。自助・共助の訓練をこれからも続けていきます。



中学生交通・防犯弁論大会

9月4日(木)に「南部警察署管内中学生交通・防犯弁論大会」が身延中学校体育館を会場に開催されました。南部中学校・身延中学校・早川中学校から代表として選ばれた生徒が、自分の経験などをもとに、交通安全や防犯について日頃抱いている思いや考えを発表しました。

本校からは4名の代表が出場し、交通の部で佐野さちさん、防犯の部で遠藤愛純さんがそれぞれ最優秀賞に選ばれ、県大会に出場することになりました。

【交通の部】

佐野 さちさん 最優秀賞「田舎と車と祖母と」

仲亀 寿輝さん 努力賞 「家族の声かけが守る命」

【防犯の部】

遠藤 愛純さん 最優秀賞「それでもあなたはこの言葉を使えますか」

小泉由希菜さん 優秀賞 「その一歩を止める勇氣」

第 15 回輝城祭に向けてーテーマは「共創」ー

6月27日の決起集会から始まった輝城祭への取組が本格化しています。体育競技の早朝練習から始まり、放課後の合唱練習・演劇練習・部門の取組など、生徒も教職員も忙しい毎日を送っています。忙しいながらも学校全体に満ちている高揚感はこの時期ならではのもので、いよいよ学園祭だと実感させられます。



今年のテーマは「共創」です。共創とは、多様な考えや価値観を持つ人たちが対話しながら新しいものを共に創り上げることです。学園祭の取組の中で、意見がぶつかり合うことや自分の思い通りに進まなくて不安になったりイライラしたりすることがあります。同じゴールを目指すにしても到達までの道順や行き方は一つではありません。近道もあるだろうし、遠回りした方が良いこともあります。また、走って行くことも歩いて行くことも、時には立ち止まることもあります。どれがよいと思うかは人それぞれで、意見が分かれて衝突することもあります。そんなときは、相手と対話を重ねて決めていきます。妥協しなければならないこともあるでしょう。大事なことは、自分が全て正しいと思わないこと、相手の意見に傾聴することです。輝城祭の取組を通して、社会の中で生きていく上で大切なことを生徒は学んでいます。



6 年ぶりに内船歌舞伎上演

今年の輝城祭では、6年ぶりに1年生が内船歌舞伎を上演します。言葉や言い回しだけでも日常とは全く違うのでとても難しいのですが、内船歌舞伎保存会の方々の指導のもと、練習に励んでいます。

今年、町当局が、猛暑の中でも輝城祭の取組が十分にできるようにと、8月上旬から輝城祭が終わるまでの間、体育館にエアコンを設置するよう取り計らってくださいました。そのおかげで、内船歌舞伎も復活させることができました。近年のこの猛暑では、生徒や指導をしていただく保存会の方々の健康を考えると内船歌舞伎に取り組むことはできません。生徒・教職員・町・地域で共に創り上げた内船歌舞伎を、当日ご覧いただければと思います。

